学校番号	T3003

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	年次	2
使用教科書	高等学校　新現代社会（帝国書院）						
副教材等	担当者作成授業プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎を養う。
・社会の形成者としての基礎的な知識を身につけ、表現する。
・人間としての在りかた生き方に関わる問題として捉え、判断力を身につける。

2　学習の到達目標

・現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎を、自らの知識として身につける。
・身につけた知識をもとに、社会の主体的な形成者としての判断力を養成する。
・自らの知識として身につけた現代社会の基本的な問題に対する判断力および表現力を用いて、他者と意見を交換し、現代社会の課題を探求する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の諸課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、現代の社会と人間についての理解を深め、主体的に考察する。	社会的事象は相互に関連し合っていることに留意し、社会的事象に対する関心を持って多様な角度から考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。	的確な資料に基づいて、社会的事象に対する客観的かつ公正なものの見方や考え方を持ち、社会調査の方法なども身につけ、実践する。	現代社会の諸課題および、現代社会における人間としての在り方生き方を理解し、その知識を身につける。
評価方法	・授業中の発言 ・授業プリント	・授業中の発言 ・定期考査	・授業プリント ・定期考査	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査

上に示す観点に基づいて、前期後期ごとに評価し、学年末に 100 点法の評点と５段階の評定により評価する。
学習内容や学習範囲、および授業展開等に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代社会の諸課題とそのとらえ方	・人間の活動と環境問題 ・持続可能な社会に向けて ・これからの日本の発電エネルギー ・高校生のソーシャルメディアの利用をどう考えるか	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a 現代社会の諸課題に対して関心を持ち、現代社会に生きる人間としての自覚と態度を意識し、課題意識を高めている。 b:設定された主題について、現代社会に生きる人間としての意識の中で思考し、自分の考えを表現している。 c 発電エネルギーやソーシャルメディアに関する諸資料を適切に選択し、自らの思考判断に資するように活用できている。 d:設定された主題について、現代社会の諸課題を歴史的事象などと関連付けながら理解し、また、自らに起こりうる問題として意識し、その知識を身に付けている。	・授業中の発言 ・定期考査 ・授業プリント
	現代の民主政治と民主社会の倫理	・近代立憲主義の原理 ・近代立憲主義の広がり ・日本国憲法 ・平等権と差別 ・自由権 ・社会権、参政権、国務請求権 ・国民主権と議会制民主主義 ・国会のしくみと役割 ・内閣と行政の役割と責任 ・世界の政治体制 ・司法の役割と責任 ・平和主義と日本の防衛政策 ・これからの日本の安全保障	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の民主政治についての関心を高め、自らも民主社会の一部となっていることを意欲的にとらえ、現代社会や民主社会の倫理について積極的に考えようとする態度を持っている。 b:現代社会および現代の民主政治のよりよい方向や方策等を思考し、新たな権利や国家の役割のさらなる必要性や有用性を判断し、それを自らの考えとして表現している c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、表や文章などでまとめたりしている。 d:現代の民主政治と民主社会の倫理について、歴史的事象と合わせて知識を身に付け、現代の政治のシステムやその必要性、その意義について理解している。	・授業中の発言 ・定期考査 ・授業プリント

後期	現代の経済と国民の福祉	・経済活動と市場経済の考え方 ・市場のメリットと限界	○	 ○	○	○ ○	a:経済や市場について関心を持ち、自らも市場経済に密接に関わっているという態度を持って、学習活動に意欲的に取り組んでいる。 b:設定された主題について思考し、何が市場のメリットになるか自ら判断し、それを自らの考えとして表現している。 c:市場経済に関する適切な資料を選択し、自らの思考を深めるために活用している。 d:個人単位、国家単位の経済活動や市場経済についての基礎的な知識を身に付け、自らもその活動に参加しているということを理解している。	・授業中の発言 ・定期考査 ・授業プリント
	現代の国際社会と日本の役割	・戦後の国際情勢 ・現代における紛争 ・国連の成立と役割 ・国連の課題 ・核兵器と軍縮 ・世界的な人権保障の動き ・国際協力と日本の課題	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の国際社会に生きる人間として、国際社会と日本との関わりに関心を持ち、日本国民としてどのような役割を担っていくべきか意欲的に考えている。 b:これまでの社会と現代社会との違いを思考し、どのような役割を担うべきか判断し、自らの考えとして表現している。 c:現代における紛争やその原因、国連の組織についてなど、必要な資料を自ら選択し、図や表にまとめて活用している。 d:現代の国際社会に関する基礎的な知識を身に付け、日本が果たすべき役割や、これから必要になっていくであろう役割について理解している。	・授業中の発言 ・定期考査 ・授業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。